

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年9月13日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3492700103		
法人名	医療法人みやうち		
事業所名	グループホーム宮内温泉ひまわり		
所在地	広島県廿日市市宮内字佐原田4215番地1 (電話) 0829-30-6071		
自己評価作成日	平成29年7月31日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3492700103-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3492700103-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成29年9月7日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

小規模多機能ホームとの複合施設という点を活かし、イベント時やボランティアの方が来られた時などは合同で行い、利用者様同志の交流を図りながら認知症の進行を防ぐよう努力しています。その他にも体操の先生を招き月1回の教室を取り入れて運動機能低下を防ぎ、維持向上するよう努めています。また合同での運営推進会議を行い、地域の方、御本人、御家族、他職種の職員が参加し意見交換を行いサービスの質の確保、向上を目指しています。利用者様の高齢化に伴いターミナルケアの機会も多くなりましたが、法人グループとの連携による取り組みを継続し、御利用者、御家族の希望に添えるよう安心したサービスに努めていきたいと思っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

当事業所は、家族や地域に何が出来るかを大切にしながら、日々サービスの向上に努めている。管理者は、就任して半年余りで有るが、利用者への思いが厚い。看護大学生や地元中学生の職場体験の受け入れも積極的で、その結果中学生の感想文で、管理者の話の中に「利用者の皆さんは人生を長く過ごされた先輩として接して下さい」と”長幼の序”（“ちょうようのじょ”年長者と年少者の間にある秩序）の大切さを聞き、良い経験をしたと報告があった。運営に対しての意欲もいろいろプランが多くある。更に同事業所には、温泉（冷泉を温めた湯）が曳かれ、効果のお蔭か利用者の肌艶もよく効果が発揮されている。玄関先には足湯スペースも設置され、利用される事がある。管理者と職員は、今後もサービスの向上を目指した支援に取り組む姿勢が伺える。

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	月2回の法人の朝礼時に地域との連携を踏まえた理念の唱和と毎日の朝礼時にホームの理念の唱和を行ない共有している。	当事業所独自の理念は、「笑顔と思いやりのある心」を基に管理者及び職員は、ケアプランの立案時にもこの理念を念頭に、話し合いぶれない支援を心掛けている。職員は理念を共有し実践に繋がるよう、管理者と共に振り返り更なる支援に繋がる様期待する。	当事業所の管理者は、就任して日が浅く理念の見直しの必要性は感じている。今後は理念や基本方針を職員と共に話し合いながら、研修等を行い実践に向け、理解や支援の方法を共有した取り組みに期待する。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	法人が開催している健康フェアや体操教室や篠笛などボランティアの方々に来ていただき地域の方との交流の場につながっている。また運営推進会議には民生委員の方が出席され訪問により交流している。	近隣地域には民家が余りない。そのため職員は同じ運営母体で、隣に位置する小規模多機能に週1～2回出掛け、利用者同士でカラオケやカルタ等楽しみ、同敷地内の病院外来に散歩に出掛け、地域住民と交流している。更にはボランティアの方達が来所し、共にそれぞれのカリキュラムを楽しんでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	母体の病院を中心に地域の方々にも知っていただくごと健康フェアを年に1回開催している。 法人に認知症ケアチームが発足され、包括との連携により支援が行われ当ホームにもその結果入居の運びとなった方がいる。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	隣接する小規模多機能ホームと共に2ヶ月に1回運営推進会議を開き現在の状態や活動報告を行っている。参加された方の意見もいただきよりよいホーム作りに取り組んでいる。	会議は定期的に行われている。出席者は当事業所と小規模多機能ホームとで開催されている。会議の主軸である利用者又は家族の出席者が多く運営に対しての熱心さが伺える。会議の内容は、報告や案内に留まらず、季節に応じた暮らし方、健康管理等の話も行いながらサービスの向上に取り組んでいる。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	連絡を取り合い運営推進会議に出席して頂き取組みを伝え意見を頂きつなげている。	市町の高齢介護課の担当者は、運営推進会議にも出席している。事業所の要望で、講師として来所の依頼をし、介護関連の制度について等、講演され出席者から好評で、今後繋げる取組みもある。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	玄関の取手は開けているようにしており、センサーチャイムを使用している。月1回法人の身体拘束委員会にて現在の状態の報告など行っている。	基本的には、施錠を行わないケアを心掛けている。夜間はセンサーを使用しているが、例えば帰宅願望がある利用者には、職員が話し合い昼間しっかり散歩や運動を、無理のない程度に行い、夜間は熟睡して貰える様、工夫しながら取り組んでいる。職員は拘束しないケアを理解し、実践に繋げている。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	虐待防止についての内容を勉強会の中に取り入れている。見過ごす事もないよう日々入居者様の変化がないか見るようにしている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在、成年後見制度を活用しておられる方はいないが、必要時には相談員を通して活用できるようにしている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	相談員やホーム長を通して十分な説明を行い、理解・納得を得られている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議や家族会など話し合いの場は設けている。また日々の面会時にもうかがうようにしている。	運営推進会議でも、要望を聞き取る機会がある。面会時にも意見や要望を聞き、必要時には家族と相談する場合もある。家族からの意見は職員間で話し合い運営に繋げる取り組みがある。結果は家族に報告を行っている。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>朝礼や終礼、または日々のカンファレンスなどで聞く機会を設け、ホーム長会議や院内の会議で提案し反映させている。</p>	<p>職員の意見は、日々の申し送りや会議の場で聞く機会があり、管理者は必要な意見は法人の会議に於いて提案している。例えば廊下の手すりの設置や、ベット脇のテーブルの購入等、状況を報告し提案の反映に活かしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>人事考課の自己評価や面談を行い、個人の努力や実績が給与に反映されており個人の能力向上により、法人のレベルアップを目指している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>人事考課にて個人の評価は把握できている。院内研修や院外研修など研修を受ける機会も積極的に設けている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>2ヶ月に1回、法人の他のグループホームのホーム長やリーダーが集まり意見交換をし、良い所は持ち帰り取り入れるようにしている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>初回の面接や訪問の時に困っている事や不安な事、またはやりたい事など会話の中より聞いている。安心できるような対応もできている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	サービス利用開始前、相談員とホーム長が自宅訪問し本人が安心した生活が送れるよう困った事や不安・要望を聞き配慮している。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	自宅訪問時にご本人の状態やご家族の悩み等しっかり話を聞き、また関係性を聞き本人と家族が必要とされている支援を見極め日常生活を楽しくすごせるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	入居者一人一人の個性を把握し、掃除、食事片付、洗濯たたみ、買い物等、一緒に生活しやすい環境になる様話し合い、工夫している。コミュニケーションを密に図り信頼関係を深めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時、電話などでご家族と情報交換を行い、外出・外泊の機会を設けて頂いたり面会に孫・ひ孫さんが顔を見せられ共に本人を支えていく関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	行きつけの美容院・墓参りと人や場所との関係が途切れないよう支援している。	利用者の家族(孫やひ孫)が遊びに来たり、外食に出掛けたりして関係の継続を築いている。例えば事業所に馴染めない利用者には、家族と話し合いながら、娘や嫁が交代で面会に訪れ、共に体操したり手をつないでアクティビティに参加し、職員は橋渡しをしながら馴染みの関係づくりに努めている。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日常生活の中で利用者同士の関係を把握した上でトラブルのない様よりよい関係作りが出来るよう工夫している。 色々な活動を通して利用者同士が交流できるような努めている。 できない方の部屋のモップ掛けをされたり塗り絵他作業時お互い声掛け合える場を提供し関わり合えるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入院などで契約が終了した場合、面会や必要に応じて本人家族の相談や支援に努めている。		

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	不安を防ぐ為ご家族の意向により常に仕事をして頂いたり、食事の摂れない方には、家人と相談し、本人の意思を尊重する方向で体調管理を続けている。 県外への外出希望はご家族に任せている。	家族の思いや意向を大切にしながら、何が本人にとって良いかを把握し、支援方法を検討している。利用者の中には、家族からの差し入れを次々と食べ、体調管理が困難になり、再度家族と共に話し合い、本人の希望を把握しながら、検討し改善に繋げるよう努力した事例も有る。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	フェイスシートを参考にまた日常さりげない会話の中から生活歴・趣味等引き出せるよう心掛けている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	コミュニケーションを円滑に行うとともに1日1回バイタルチェックし心身状態を把握している。 家事・作業・体操等により有する力の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p><b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b></p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ケアプラン作成時、入居者の状況を把握し本人・家族の希望を大切にしながら状態に合わせて見直しを行い出来るだけ暮らしやすい環境で生活出来るよう計画を心掛けています。</p> <p>本人・家族の希望を聞き、また本人が伝えにくい方に対しては家族に希望を聞き状態に合わせて出来る限り添うよう計画を立てる時に相談員や看護師の目線での意見も求めている。</p> <p>3ヶ月後又は異常のある度見直しを行い再び希望を聞いている。</p>	<p>ケアプランの作成に当たって必要な情報は其々の利用者のキーパーソンと話し合い、計画を立てている。モニタリングは基本的には、管理者と担当職員が3か月に1度行い、本人や家族の希望に添った支援に活かしている。また異常が有る場合は現状に即した介護計画を関係者と見直し、実践に繋げている。</p>	
27		<p><b>○個別の記録と実践への反映</b></p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ケアプランに基づき（ケアの実践に努め、情報を積極的に取り入れ個別の行動記録表に実践した事、気づきを記録し）創意工夫を心がけ改善、見直しに生かしている。</p>		
28		<p><b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b></p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>介護の質の向上を図るため自己学習や研修会に参加し本人の状況に対応し訪問看護・訪問歯科等取り入れ多機能化に取り組むようにしている。</p>		
29		<p><b>○地域資源との協働</b></p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の美容院の利用やスーパーに買物、また法人内の催しへの参加、ボランティア活動を利用しメリハリのある暮らしが出来るよう支援している。</p>		
30	11	<p><b>○かかりつけ医の受診診断</b></p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>受診は本人や家族の希望を大切にしながら適切な医療を受けられる様支援している。</p> <p>毎月の定期受診には入居者の様子を観察し併設の病院を利用され毎月定期的に受診し緊急時は協力連携の病院への対応となるよう支援している。</p> <p>異常があれば早めに受診し、ご家族に連絡している。</p>	<p>利用者の殆どが、母体である医療機関をかかりつけ医とし24時間体制で支援されている。受診は定期的に行われ、協力歯科医も口腔ケアを含め定期的に受診している。その結果、服薬の量を軽減する事が出来き、家族にも好評を得ている。また緊急時を含め他科への受診も連携している。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	毎日バイタル測定をし食事量・水分量・排泄状況・皮膚状態等の異変時には毎日の訪問看護師に相談し適切な受診、看護を受けられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	併設の病院への入院が多く、入院時の状態等の情報交換をし早期に退院できるよう努めている。また退院後は病院からの訪問指導を受けている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	面会時や異変時にはその都度状態報告をし本人の意思を尊重し、家族と医師と話し合いを行い、思いに添った支援が出来る様併設の病院の協力を得ながらスタッフ全員で取り組んでいる。	入所時に、重度化した場合に関する指針を説明している。職員は看取り介護の経験を重ねながら、家族に寄り添い支援している。看取り対象者の部屋には、医療関係を含め経過表を部屋に置き、職員は手順の見直し等話し合いを重ね、共有した支援体制を整え全員で取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	目につきやすい場所の急変時の対応マニュアルを貼っている。 院内の研修や勉強会でも行っている。		
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	月一回、色々な想定で消防訓練を行い訓練後は反省会をしている。 併設の病院が地域の避難対応受け入れとなり訓練が行われ協力体制がとれている。	消防訓練は利用者を含め、定期的に行われている。併設の法人医療機関は地域の避難場所にもなっている。地域に何が出来るかをコンセプトに、親子（乳児と母親等）や住民等、普段避難訓練に余り縁がない住民と共に、炊き出し等も行いながら、大規模な訓練を関係機関と連携を取り実施された。	



自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人それぞれ思い思いに生活して頂きプライバシーを損ねない様排出面を声に出さない等配慮している。	利用者一人ひとりの生活歴を把握し、職員は情報を共有し、不用意な事は口外しないよう心掛けながら対応している。研修は接遇、権利関係等、事例を基にしっかり意識づけを行い日々支援に役立っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常のコミュニケーションの中で好きな食べ物や外出したい場所等と本人がどうされたいのか思いや希望を聞くよう働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	食事や休み時間、入浴時間等一人ひとりのペースに合わせ、仕事をしに来られている方には一緒に家事をして頂き対応をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	希望時には慣じみの美容院へ行っている。毎朝化粧をされる方には、忘れておられると声掛けをしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	旬の物で季節感を味わって頂ける工夫をし、庭で野菜を作り水やりや収穫をして頂き、食事作りのお手伝いや片付けと一緒にしている。	毎日の食事は、職員が交代で利用者と共に作っている。気候の良い日はデッキで手作り弁当を、皆で楽しみ食欲も進む。時には家族と共に近くへステーキや焼き肉を食べに行く等している。食事環境にも気配りを行い、テーブルの高さや席の配置、車椅子の利用者はイスに移乗し楽しい食事を支援している。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<b>○栄養摂取や水分確保の支援</b>  食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている。	1日三食の食事量を記録に残し、月1回 の体重測定をし状態把握し、治療食や食 事量・食事形態、食器等も一人ひとりに 合わせた物を提供している。		
42		<b>○口腔内の清潔保持</b>  口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、口腔ケアの声かけをし自分で磨 ける方には見守りや他一部介助で口腔内 の清潔保持に努めている。 義歯の方は夜間ポリドント使用してい る。		
43	16	<b>○排泄の自立支援</b>  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。	食事前後トイレに座って頂いたり行動等 から排泄のサインを読み取り声かけをし パターンを把握し誘導を行っている。	職員は平素、利用者の排泄パターンを記 録に取り、誘導の機会を把握しながら支 援している。更にファンレストテーブル 等利用し、その人の残存能力を、少し助 ける事で引き出し、排泄の自立に向けて 日々話し合い工夫を重ね、情報を共有し 支援に努めている。	トイレは各ユニットに二箇所あるが、便 座の高さが利用者の現状に即していない ため、アクシデントの恐れも拭えない。 今後の課題として一箇所でも改善できれ ば更に自立した支援に繋がると示唆す る。
44		<b>○便秘の予防と対応</b>  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。	水分を多く摂って頂き、牛乳や食物繊維 等便秘に良さそうな物を食事に取り入れ ている。個々に下剤で調整もしている。		
45	17	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b>  一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をしてい る。	現在、夜お風呂希望の方がおり希望時対 応、また入浴のきれいな方はその日の様 子を見ながら声掛けをしながらシャワー 浴をとそれぞれのペースに合わせた入浴 をして頂いている。	入浴の頻度は、利用者一人ひとりの暮ら し方や希望に合わせて、快適な入浴を心掛 けている。当事業所は温泉（冷泉を温め た湯）が利用出来き、利用者は毎回効能 を含めた入浴を楽しみ、結果肌がスベス ベしている人もいる。現在は入浴困難な 利用者はいない。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	昼寝の必要な方、必要のない方、夜間楽しみのテレビを観て眠りたい方等、本人様の希望に添い支援している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	個人の薬表作成し、目的・副作用、用法等がすぐに確認できる場所におき確認し、管理している。 歩行状態、排尿排便の有無、量、睡眠状態等、変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	フェイスシートやご家族に話を聞き生活歴を把握し、家事、畑仕事、縫い物、塗り絵、歌等、それぞれの力、好みによって生活を楽しくして頂ける様支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	一人ひとりの希望に応じて、買い物、ドライブ、美容院等に出かけたり関連事業所で行われる行事に参加したりしている。また家族との外出外泊も楽しまれている。	日常的には、事業所前の敷地を散歩したり、敷地内にある病院の外来へ出掛けたりしている。外出困難な利用者は、2Fの場合デッキに出て、空を眺めたりして楽しんでいる。また本人の希望で、家族と県外に墓参りに出掛ける機会を設け、積極的に支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	一人ひとりの希望や力に応じてお金を持って頂いており、買い物等の時に使える様支援している。 現在一名所持されて買物の時ご自分で支払をされている。		

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>年賀状、暑中お見舞い等、家族や大切な人との手紙のやり取りを支援している。携帯電話を持っている方がいるが、かかって来た場合のみご自分で取り話されている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>毎朝、入居者様と掃除をし季節を感じて頂ける様、四季のカレンダー作り、お花や作品を飾っている。 居間にはほどよい光と窓の外には四季の花々や空や山と景色が見え、また温度湿度計により室温の管理をし快適に過ごせるよう工夫している。</p>	<p>居間の大きな窓から山の緑、反対側には車が行き来する景色が、飽きることなく眺められ時には見える方向に我が家を感じる人もいる。1Fの居間では、隣り合わせの小規模多機能ホームとのパーティーを取り払い、楽しい時間を共に過ごすことも有る。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>入居者が自由に過ごせる様、テーブル、ソファ、テラス等くつろげる場所を提供している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>それぞれ使いやすい様工夫して頂き、好みの物を置いたり、居心地よく過ごせる様、配慮している。 職員も一緒に整理整頓させて頂き快適に過ごして頂ける様支援している。</p>	<p>各部屋には、大きなはき出し窓が有り、開閉（ホテル使用の全開しない）は心地良い風が入る程度になっている。利用者の中には、可愛い縁取りのある畳を持ち込み、自分が暮し易い部屋作りを家族と行っている。また夜間対応が必要な利用者には、ベッドの高さやソファを利用し、職員が知恵を出し安全で過ごし易い工夫が感じられる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>建物内部はバリアフリーになっている。一人ひとりのできる事は、手摺りは廊下全体にトイレは3ヶ所設置し、見守りしながらして頂けるよう工夫している。</p>		

V アウトカム項目( 1階 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム宮内温泉ひまわり

作成日 平成29年10月14日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念及び方針の見直し	グループホーム独自の理念を作り掲げる	<ul style="list-style-type: none"><li>・各自理念を考える</li><li>・集計 (BS法使用)</li><li>・方針の検討</li><li>・決定</li></ul>	3ヶ月
2	4	運営推進会議の向上	運営推進会議を内容のあるより良い会議にする	<ul style="list-style-type: none"><li>・勉強会を取り入れる</li><li>・議題の検討</li><li>・講師依頼</li><li>・実行</li></ul>	1年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。